

令和 7 年度相談概要

* 令和7年4月～令和8年3月に受け付けた東京都内の相談情報をPIO-NET(全国消費生活情報ネットワークシステム)で分析したもの。
令和8年4月30日時点の登録データで全期間の分析を行った。

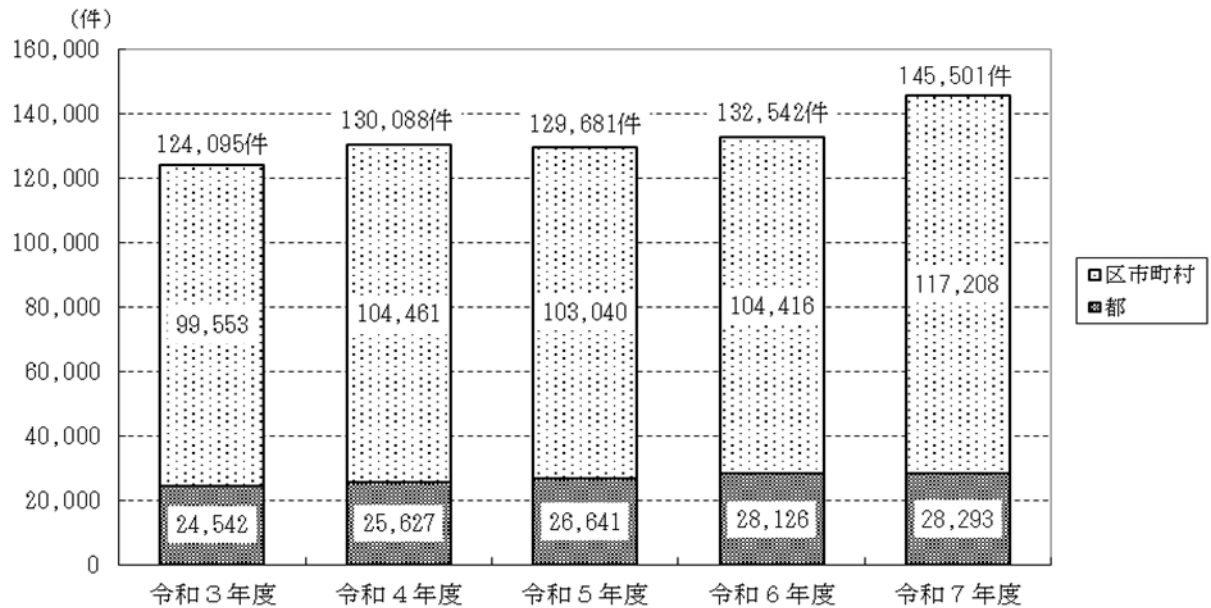
I 相談全体の概要

(1) 相談件数の推移

令和7年度の東京都内の相談受付件数は**145,501件**であり、対前年度比109.8%と増加している。

うち東京都受付分が28,293件、区市町村受付分が117,208件であった(図-1)。

【図-1】東京都・区市町村相談件数の推移

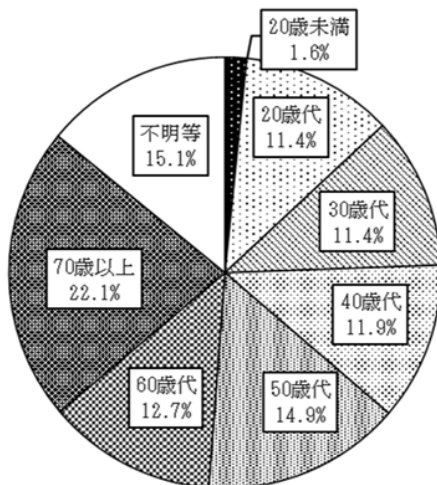


(2) 契約当事者の属性(年代別・職業別)

契約当事者の年代別の構成比は、「**70歳以上**」が最も多く**22.1%**となっている(図-2)。

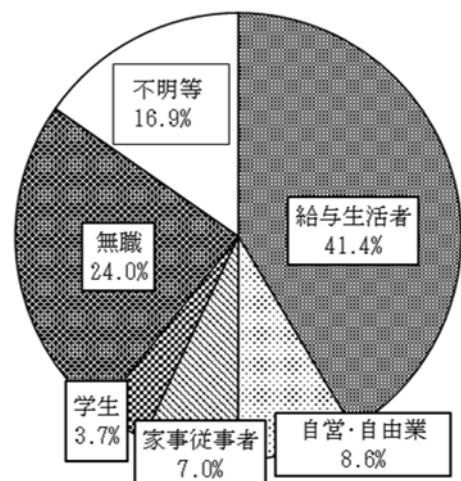
契約当事者の職業別の構成比を見ると、「**給与生活者**」が最も多く**41.4%**を占める(図-3)。

【図-2】契約当事者年代別構成比



(構成比は、小数点第2位を四捨五入)

【図-3】契約当事者職業別構成比



(構成比は、小数点第2位を四捨五入)

(3) 相談全体の概要

① 商品・役務別相談件数 上位 10 位

相談件数が最も多い商品・役務は、「**レンタル・リース・貸借**」(12,682件)で、**対前年度比128.3%と増加**している。内容は、賃貸アパート(※)の修理費、敷金の返還や家賃の値上げ等に関する相談が多い。

そのほか、第10位「**紳士・婦人洋服**」(3,575件)が**対前年度比145.8%と増加**した。「インターネット通販で購入した洋服が未着だ」「粗悪品が届いた」等の相談が多く寄せられた(表-1)。

※「賃貸アパート」は、集合住宅の賃貸借・使用貸借、賃貸マンション、会員制賃貸マンション、短期契約(マンスリー、ウィークリー)マンション、シェアハウス、有料老人ホームの定義に当てはまらないサービス付き高齢者向け住宅

【表-1】商品・役務別相談件数 上位 10 位

順位	商品・役務分類	7年度件数	6年度件数	対前年度比	主な項目
1	レンタル・リース・貸借	12,682	9,884	128.3%	賃貸アパート(※)の修理費、敷金の返還や家賃の値上げ等
2	役務その他	10,768	8,847	121.7%	解錠サービス、有料質問サイト、ブレーカー(分電盤)点検、給湯器点検等
3	商品一般 ※1	10,381	10,716	96.9%	架空請求等と思われる不審な電話・メール・ショートメッセージやクレジットカードの不正利用等
4	化粧品	4,987	5,006	99.6%	美容液、化粧品、育毛剤、シャンプーの定期購入等
5	医療	4,493	5,158	87.1%	美容医療、歯科治療、医療脱毛等
6	工事・建築・加工	4,370	4,337	100.8%	ブレーカー(分電盤)交換工事、リフォーム工事、屋根工事等
7	健康食品	4,267	4,782	89.2%	各種サプリメントの定期購入等
8	移動通信サービス	3,599	3,368	106.9%	スマートフォン・モバイルWi-Fiの解約等
9	インターネット通信サービス	3,593	2,979	120.6%	インターネット回線やプロバイダの解約等
10	紳士・婦人洋服	3,575	2,452	145.8%	インターネット通販の商品未着、粗悪品等

※1「商品一般」は、その商品・役務が何なのか消費者が知らないもの。今後消費者問題につながる(何らかの商品・役務の販売につながる可能性があるが、商品・役務が特定できないもの。)

② 相談内容別相談件数 上位 10 位

相談内容に付与されたキーワード(複数選択項目)でみると、「**解約一般**」(39,141件)に**関する相談が最も多く、相談全体の26.9%を占めている**。増加率でみると、第10位「**SNS**」(11,648件)が関連する相談が、対前年度比123.2%と上位10位の中では最も増加している(表-2)。

【表-2】相談内容別相談件数 上位 10 位(複数選択項目)

順位	内容キーワード	7年度件数	6年度件数	対前年度比
1	解約一般 ※1	39,141	34,085	114.8%
2	インターネット通販	38,060	31,774	119.8%
3	返金	25,592	21,425	119.4%
4	電子広告	21,680	17,626	123.0%
5	高価格・料金	15,652	13,904	112.6%
6	連絡不能	15,156	12,583	120.4%
7	契約書・書面一般 ※2	14,903	13,106	113.7%
8	説明不足	13,057	11,055	118.1%
9	信用性	12,346	11,948	103.3%
10	SNS	11,648	9,458	123.2%

※1「解約一般」は、解約拒否以外の解約に関する相談

※2「契約書・書面一般」は、書面不交付、書面偽造、書面不備以外の契約書・書面に関する相談

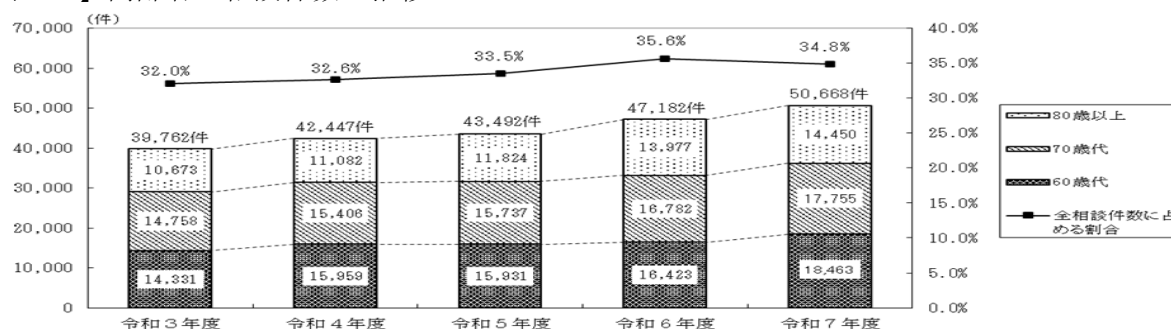
（４）高齢者の相談（契約当事者 60 歳以上）

① 相談件数の推移

60歳以上の相談は50,668件で、対前年度比107.4%と増加しており、全相談に占める割合は34.8%となっている（図－４）。60歳以上の契約購入金額の平均は約121万円で、59歳以下の約109万円と比較して高額となっている（表－３）。

なお、契約当事者が70歳以上の相談は32,205件で4.7%の増加であり、契約購入金額の平均は約126万円となっている。

【図－４】高齢者の相談件数の推移



【表－３】高齢者相談 契約購入金額の平均の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
60歳以上	946	1,003	1,190	1,013	1,212
うち70歳以上	1,006	1,128	1,250	1,090	1,262
59歳以下	891	881	999	1,032	1,094
全体	888	946	1,104	1,066	1,159

単位:千円

・「契約購入金額の平均の推移」のうち令和6年度については年齢不明・未回答の相談者の平均が高額であったことから、全体の契約購入金額の平均が、高齢者の契約購入金額の平均と59歳以下の契約購入金額の平均を上回っている。

② 商品・役務別相談件数 上位10位

商品・役務別でみると、最も多い相談は「商品一般」となっている。

増加率でみると、第8位「他の金融関連サービス」(1,285件)が、対前年度比148.6%と増加している。「以前作成した年会費無料のクレジットカードの手数料の請求通知が届いた。使用しないので、解約したい。」等の相談が増加したことによるものである（表－４）。

【表－４】高齢者相談 商品・役務別相談件数 上位10位

順位	商品・役務分類	7年度件数	6年度件数	対前年度比	主な項目
1	商品一般	3,955	4,175	94.7%	架空請求等と思われる不審な電話・メール・ショートメッセージやクレジットカードの不正利用等
2	役務その他	3,743	3,087	121.3%	有料質問サイト、ブレーカー（分電盤）の点検、給湯器の点検等
3	化粧品	2,832	2,811	100.7%	美容液、化粧品、育毛剤等の定期購入等
4	健康食品	2,617	2,861	91.5%	各種サプリメントの定期購入等
5	工事・建築・加工	2,288	2,361	96.9%	ブレーカー（分電盤）交換工事、屋根工事、リフォーム工事等
6	レンタル・リース・貸借	1,622	1,318	123.1%	賃貸アパート・マンションの修理費や敷金の返還等
7	移動通信サービス	1,597	1,544	103.4%	スマートフォン・モバイルWi-Fiの解約等
8	他の金融関連サービス	1,285	865	148.6%	クレジットカードの解約、暗号資産投資詐欺等
9	インターネット通信サービス	1,208	954	126.6%	インターネット回線やプロバイダの解約等
10	修理・補修	1,163	1,078	107.9%	トイレの詰まり修理・エアコン修理等

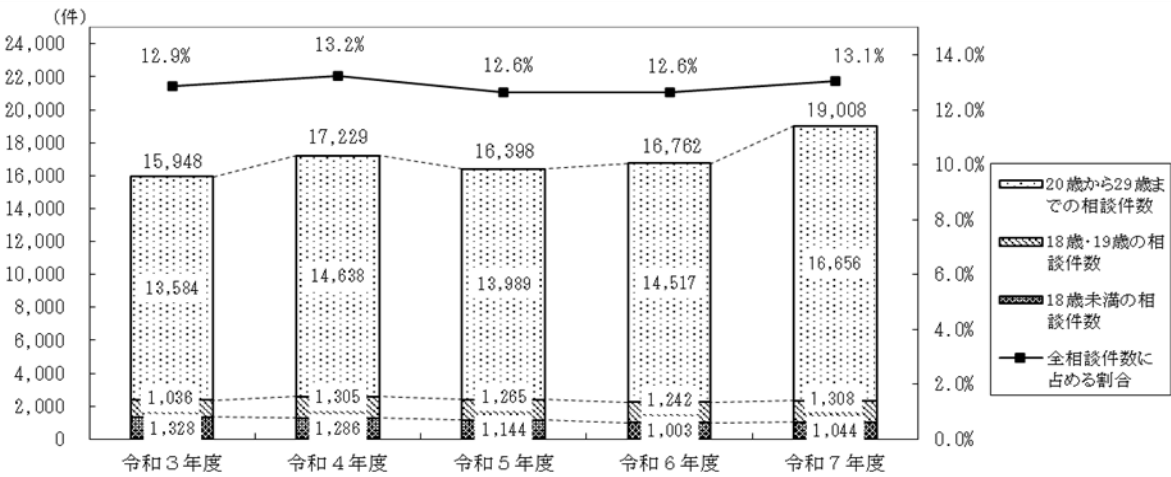
(5) 若者の相談（契約当事者 29 歳以下）

① 相談件数の推移

29歳以下の相談は19,008件で、対前年度比113.4%と増加した。全相談件数に占める割合は13.1%で前年度から0.5ポイント増加している。

令和4年に成年年齢が引き下げられた18歳・19歳の相談件数は1,308件であった。令和3年度（1,036件）から令和4年度（1,305件）に増加して以降、引き続き高止まりしている（図－5）。

【図－5】若者の相談件数の推移（20歳から29歳、18歳・19歳、18歳未満別）



② 商品・役務別相談件数 上位10位

商品・役務別にみると、最も多い相談は「レンタル・リース・貸借」（2,717件）となっている。

増加率でみても、第1位「**レンタル・リース・貸借**」（2,717件）が、**対前年度比144.9%と増加**している。これは、借りていた賃貸アパートの退去時にかかる費用が高額すぎる等の相談が寄せられたことによるものである。ほかには、第9位「**紳士・婦人洋服**」（442件）も、**対前年度比138.6%と増加**している。「インターネット通販で購入した洋服が届かない」「粗悪品だった」等の相談が寄せられたことによるものである。（表－5）

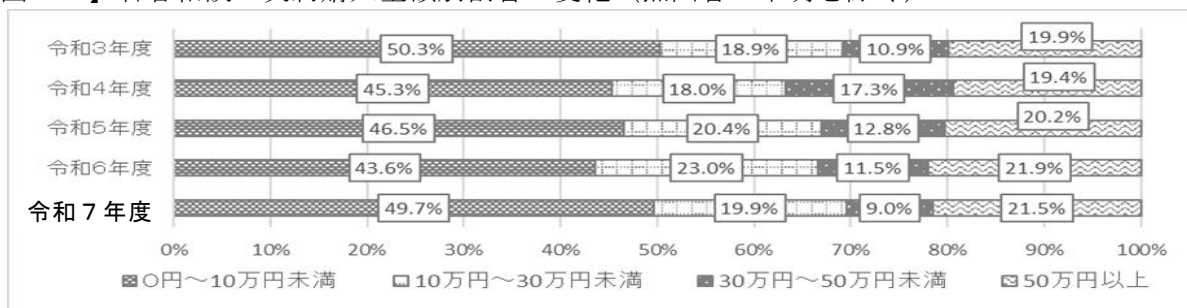
【表－5】若者相談 商品・役務別相談件数 上位10位

順位	商品・役務分類	7年度件数	6年度件数	対前年度比	主な項目
1	レンタル・リース・貸借	2,717	1,875	144.9%	賃貸アパートの修理費、敷金の返還や家賃の値上げ等
2	役務その他	1,567	1,258	124.6%	副業サポート、解錠サービス、不用品回収等
3	理美容	1,313	979	134.1%	エステティックサービス等
4	医療	1,182	1,818	65.0%	医療脱毛、美容医療、歯科治療等
5	他の教養・娯楽	1,016	977	104.0%	インターネットゲーム、出会い系サイト・マッチングアプリ、スポーツジム等
6	教室・講座	985	804	122.5%	パーソナルジム、ビジネススクール、自動車教習所等
7	商品一般	784	710	110.4%	架空請求等と思われる不審な電話・メール・ショートメッセージやクレジットカードの不正利用等
8	内職・副業	703	646	108.8%	副業サイト、情報商材等
9	紳士・婦人洋服	442	319	138.6%	インターネット通販における商品未着、粗悪品等
10	電気	424	395	107.3%	電力契約変更の訪問販売等

③ 契約購入金額別割合の変化

契約購入金額別割合（無回答・不明を除く）をみると、「10万円未満」の割合が49.7%と最も多い（図－6）。**契約購入金額の平均は約65万円**で、前年度（約64万円）から微増している。（表－6）

【図－6】若者相談 契約購入金額別割合の変化（無回答・不明を除く）



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

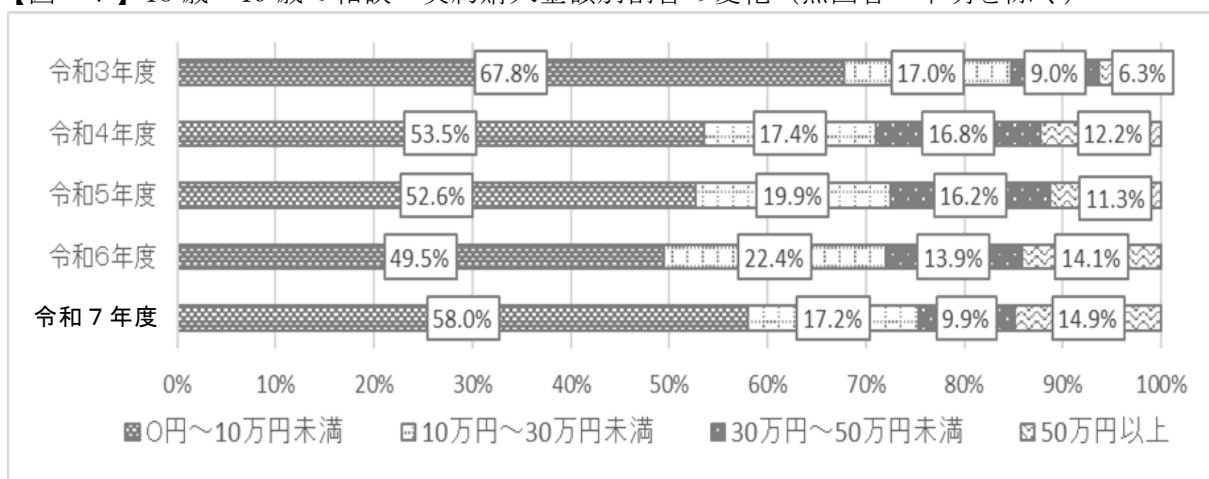
【表－6】若者相談 契約購入金額の平均の推移

	単位:千円				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
29歳以下	572	544	626	635	648
全体	888	946	1,104	1,066	1,159

④ 18歳・19歳の相談 契約購入金額別割合の変化

契約購入金額別割合（無回答・不明を除く）をみると、「10万円未満」の割合が58.0%と最も大きく（図－7）。令和7年度の平均契約金額は、約21万円となっており、令和6年度の約24万円から減少した。（表－7）

【図－7】18歳・19歳の相談 契約購入金額別割合の変化（無回答・不明を除く）



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

【表－7】18歳・19歳の相談 契約購入金額の平均の推移

	単位:千円				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
18歳・19歳	139	221	212	244	214
全体	888	946	1,104	1,066	1,159

Ⅱ 相談の特徴

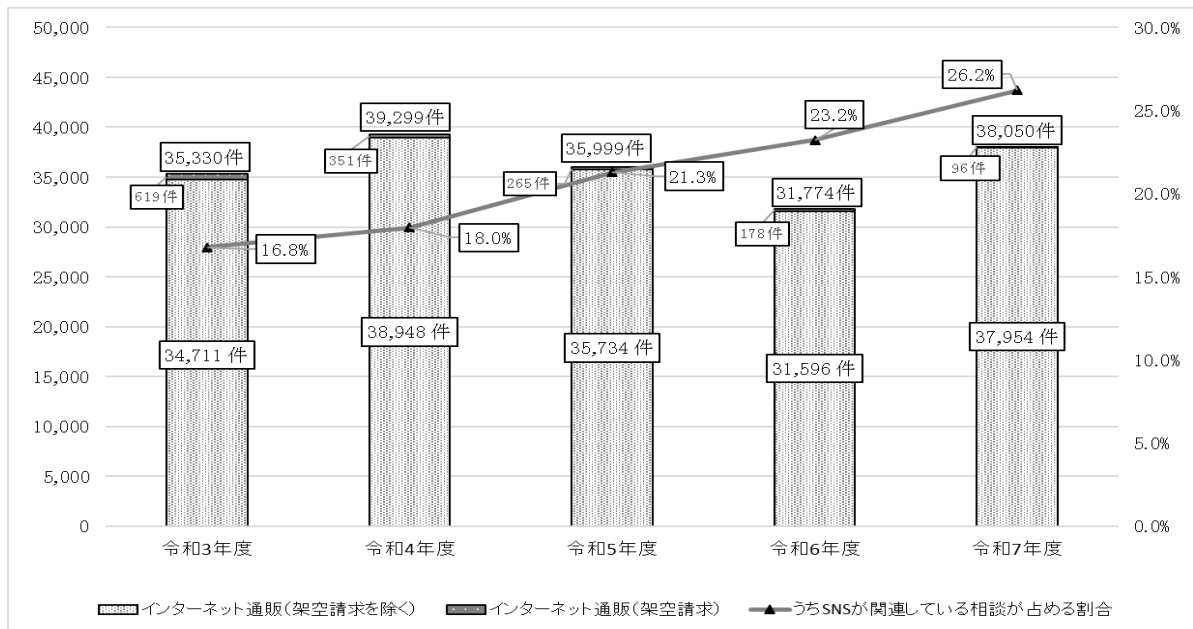
(1) インターネット関連

① インターネット通販

「インターネット通販」に関する相談件数は 38,050 件で（図－8）、**全体の相談内容別相談件数の 2 位**となっている（表－2）。契約当事者の年代別では 50 歳代が最も多い（表－8）。

「インターネット通販」の中でも **SNS に表示された広告をきっかけとした契約トラブル等、何らかの形で SNS が関連している相談の割合が 26.2%**で前年度から 3.0 ポイント上昇し、引き続き増加傾向にある（図－8）。インターネット通販の相談のうち SNS が関連している相談を年代別の割合でみると、50 歳代が 22.7% と最も高く、60 歳代（21.5%）、40 歳代（15.3%）と続いている（図－9）。

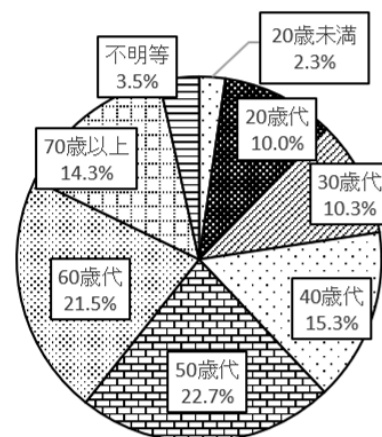
【図－8】インターネット通販の相談件数及びうち SNS が関連している相談が占める割合の推移



【表－8】契約当事者の年代別件数

	7年度件数	6年度件数	対前年度比
20歳未満	1,074	999	107.5%
20歳代	3,399	2,718	125.1%
30歳代	4,063	3,329	122.0%
40歳代	5,449	4,541	120.0%
50歳代	7,387	6,330	116.7%
60歳代	6,820	5,481	124.4%
70歳以上	6,935	5,582	124.2%
不明等	2,923	2,794	104.6%
計	38,050	31,774	119.8%

【図－9】インターネット通販の相談件数のうち SNS が関連している相談の年代別割合



（構成比は、小数点第 2 位を四捨五入）

② インターネット通販のSNSが関連した商品未着、粗悪品

インターネット通販でSNSが関連している相談のうちで、購入した商品が届かない、画面で見たものと違う粗悪品が届く（以下、「商品未着、粗悪品」という。）のトラブルに関する相談件数が3,490件（35.0%）で対前年度比165.0%と増加している（図－10）。

「商品未着、粗悪品」の相談について、商品別相談件数の上位5位を示したものが（表－9）である。令和7年度では、第1位が「紳士・婦人洋服」で826件、第2位が「かばん」で300件、第3位がスニーカー等の「履物」で269件となっている。

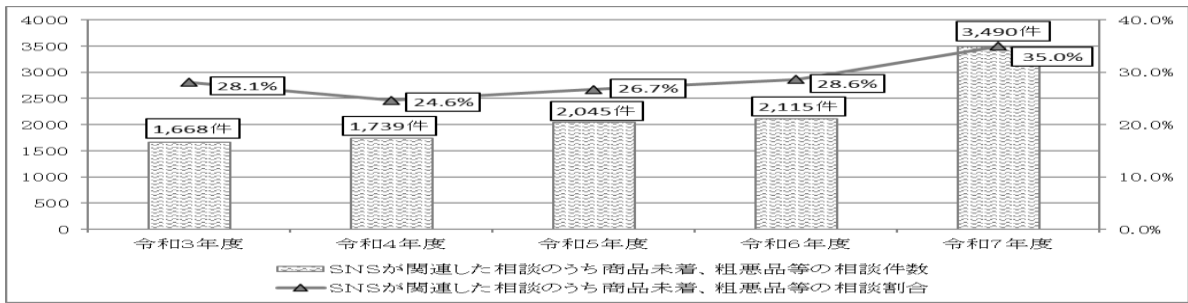
契約当事者の男女別割合では、女性が65.5%を占めている（図－11）。

契約当事者の年代別では、50歳代が23.9%で最も多く60歳代が20.6%、40歳代が17.6%と続いている（図－12）。

「SNSに表示された広告を見て洋服を注文し、受注確認メールに従いコード決済で代金を支払った。2日前、業者から洋服の在庫が切れたため、メッセージアプリで説明しながらコード決済で返金すると連絡があった。指示に従いコード決済を行ったところ、返金ではなく相手への送金となり、結果として二重払いになった。その後、業者とは連絡がつかなくなってしまった。」等の相談が寄せられた。

【図－10】 インターネット通販でSNSが関連した商品未着、粗悪品に関する相談件数と割合

（単位：件）

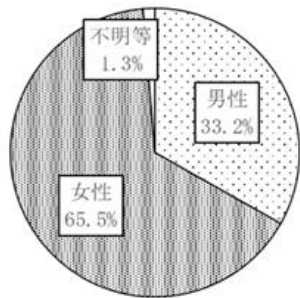


【表－9】 インターネット通販でSNSが関連した商品未着、粗悪品に関する相談の商品別相談件数の上位5位の推移

（単位：件）

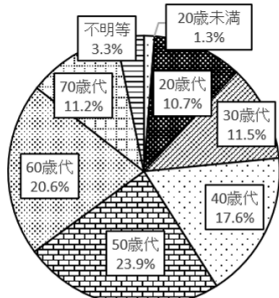
順位	令和3年度(1,668件)		令和4年度(1,739件)		令和5年度(2,045件)		令和6年度(2,115件)		令和7年度(3,490件)	
1	かばん	386	紳士・婦人洋服	342	紳士・婦人洋服	338	紳士・婦人洋服	402	紳士・婦人洋服	826
2	紳士・婦人洋服	336	かばん	237	かばん	245	かばん	150	かばん	300
3	化粧品	69	時計	176	履物	186	履物	134	履物	269
4	家具・寝具	58	履物	169	化粧品	101	他の教養娯楽品	95	玩具・遊具	159
5	履物		化粧品	95	他の身の回り品	80	書籍・印刷物	89	空調・冷暖房機器	145

【図－11】 契約当事者の男女別割合



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

【図－12】 契約当事者の年代別割合



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

③ 定期購入

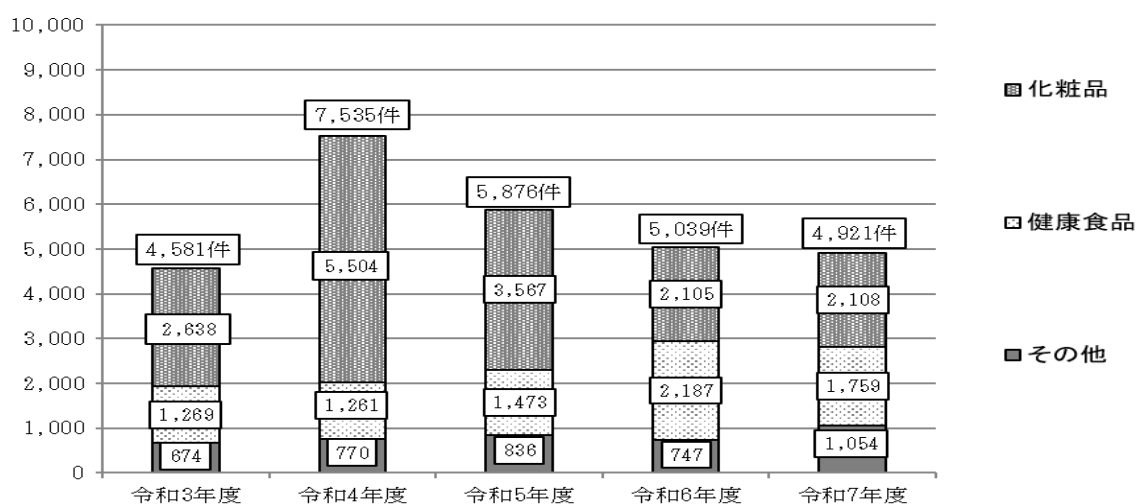
インターネット通販で購入した商品の「定期購入」に関する相談が、令和7年度も4,921件と高水準で推移している。商品の内訳をみると、「化粧品」が2,108件、「健康食品」が1,759件となっており、この2つで全体の78.6%を占めている。(図-13)。

契約当事者の男女別割合では、女性が63.4%を占めている(図-14)。

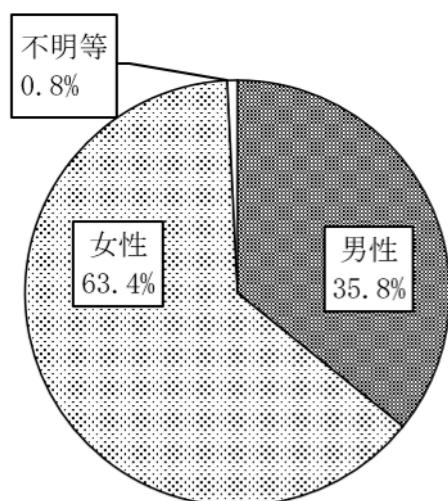
契約当事者の年代別では50歳以上が全体の77.5%を占めている(図-15)。

「SNSで流れてきた広告で、化粧品が2千円と安く売られていた。広告画面には「1回限り」と書いてあったため申し込んだところ、1回目が届いてしばらくして2回目が届き、1万4千円の振込用紙が入っていたため、定期購入であることに気付いた。解約したい。」等の相談が多く寄せられた。

【図-13】インターネット通販における定期購入に関する相談件数の推移

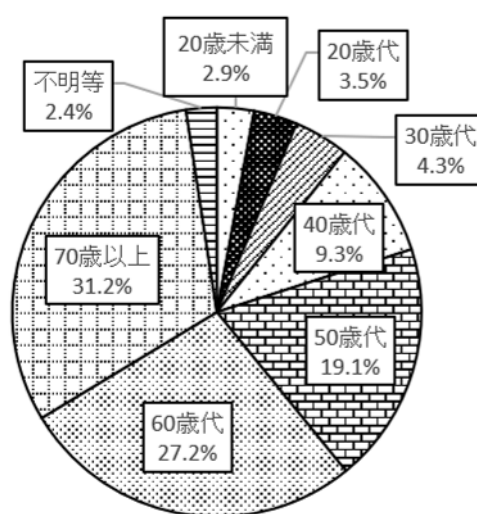


【図-14】契約当事者の男女別割合



(構成比は、小数点第2位を四捨五入)

【図-15】契約当事者の年代別割合



(構成比は、小数点第2位を四捨五入)

④ インターネットゲーム

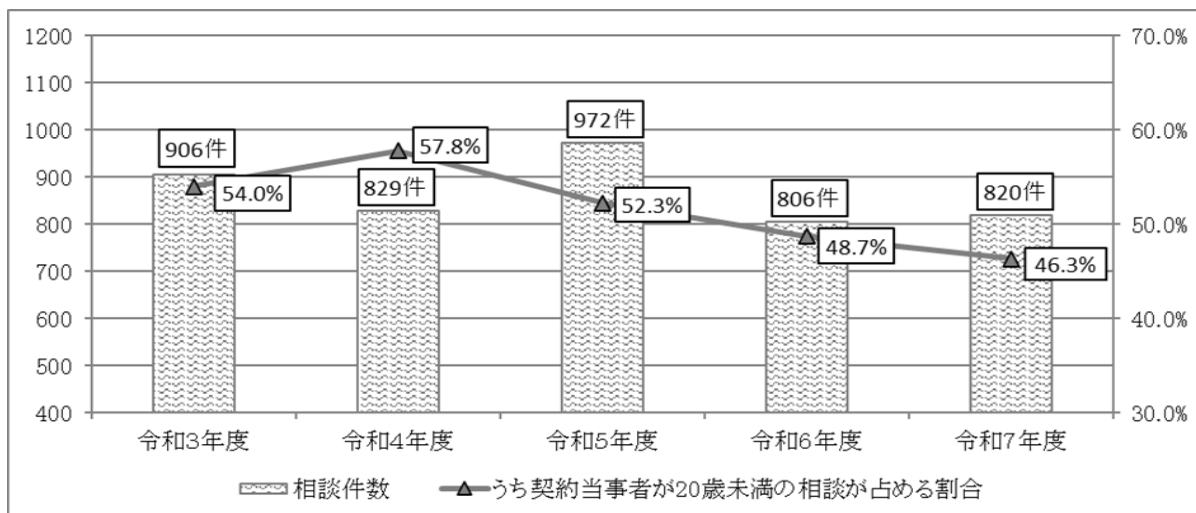
「インターネットゲーム」に関する相談は820件と依然として高水準で推移している（図－16）。契約当事者の年代別割合をみると、20歳未満が46.3%と依然として割合が多く、そのうち18歳未満が44.1%と20歳未満の9割以上を占めている（図－18）。

契約当事者の男女別割合では、男性が62.1%を占める（図－17）。

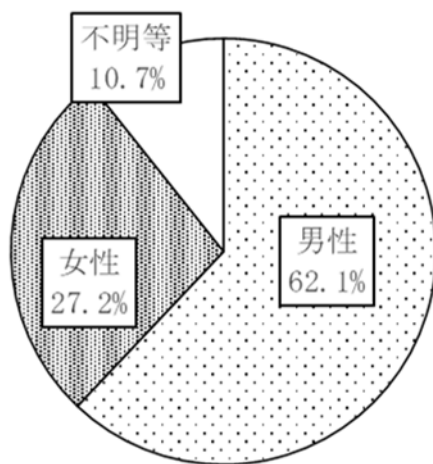
契約当事者が18歳未満の平均契約金額は約39万円となっている。（表－10）

「小学生の子どもが、親の同意なく、インターネットゲームで高額な課金をしていたことがわかり、未成年なので取消してもらいたい。」等の相談が多く寄せられた。

【図－16】 インターネットゲームに関する相談件数及び契約当事者が20歳未満の相談割合の推移

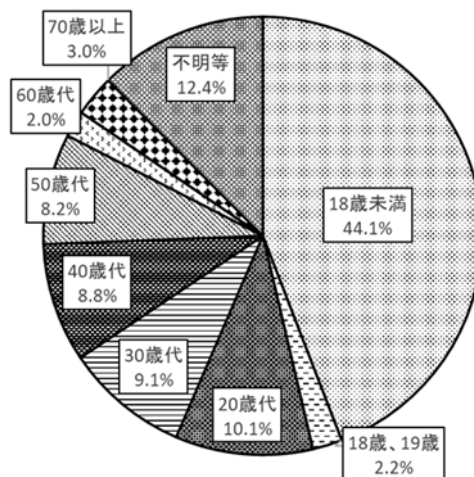


【図－17】 契約当事者の男女別割合



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

【図－18】 契約当事者の年代別割合



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

【表－10】 インターネットゲームの相談 契約購入金額の平均の推移

	単位:千円				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
18歳未満	330	389	392	416	393
全体	342	403	348	336	351

(2) リフォーム・修繕関連

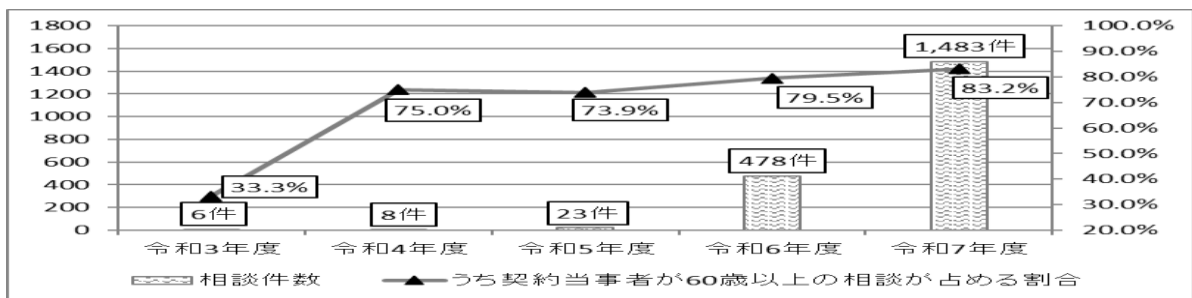
① 不審な電気点検やブレーカー（分電盤）の交換

契約会社を装ったような不審な電気点検や点検等をきっかけにしたブレーカー（分電盤）の交換のトラブルに関する相談件数が1,483件と対前年度比310.3%と激増している。契約当事者の年齢を見ると、高齢者（60歳以上）の割合が83.2%と多くなっている（図－19）。

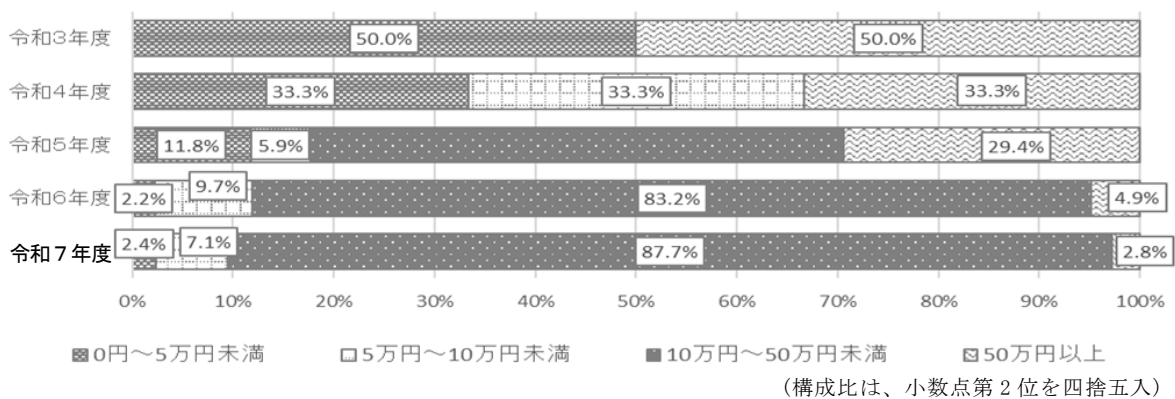
契約購入金額別割合（無回答・不明を除く）をみると、「10万円以上50万円未満」が87.7%と最も多い（図－20）。契約当事者の男女別割合では、女性が58.3%を占める（図－21）。契約当事者の年代別件数では、80歳代（587件）が39.6%と最も多く、次に70歳代（322件）が21.7%と多くなっている（表－11）。

「ブレーカー点検の電話を受け、定期点検かと思い承諾したところ、約束の日に業者が来訪した。点検後、業者からブレーカーの古さを指摘され交換をもちかけられ、その場で約10万円の契約をした。回覧板や警察のチラシを見て、高額だったので詐欺ではないかと不安である。」等の相談が寄せられている。

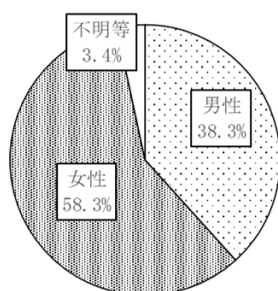
【図－19】 不審な電気点検や点検をきっかけとしたブレーカー（分電盤）の交換に関する相談件数及び高齢者（60歳以上）の相談割合の推移



【図－20】 契約購入金額別割合の変化（無回答・不明を除く）



【図－21】 契約当事者の男女別割合



【表－11】 契約当事者の年代別件数

	7年度件数	6年度件数	対前年度比
29歳以下	1	8	—
30歳代	1	0	—
40歳代	25	8	312.5%
50歳代	99	38	260.5%
60歳代	159	57	278.9%
70歳代	322	126	255.6%
80歳代	587	162	362.3%
90歳以上	166	35	474.3%
不明等	123	44	279.5%
計	1,483	478	310.3%

② ソーラーシステム（太陽光発電）・蓄電池

補助金が出ると言われソーラーシステムや蓄電池を設置したが補助金が出ない等のソーラーシステム・蓄電池に関する相談件数が 1,049 件で対前年度比 119.9%と増加している（図－22）。

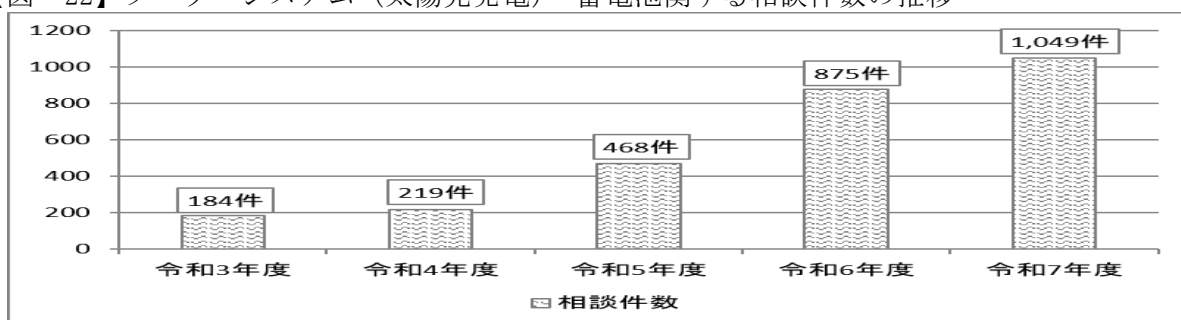
相談内容に付与されたキーワード（複数選択項目）上位 10 位で見ると、「家庭訪販」が 512 件と最も多く、「信用性」「約束不履行」が続いている（表－12）。

契約購入金額の平均は約 463 万円となっている（表－13）。

契約当事者の年代別割合では、50 歳代（177 件）が 16.9%と最も多く、次に 40 歳代（166 件）15.8%、60 歳代（154 件）14.7%が多くなっている（図－23）。

「ソーラーパネルと蓄電池の設置で補助金が出ると知り、インターネットで検索して見つけた施工例が多いと記載のあった業者と約 400 万円の契約をした。補助金の申請は業者からしかできないので任せていたが、工事が完了して数か月がたっているのに補助金が振り込まれない。補助金の申請がされているのか心配だ。」という相談等が寄せられている。

【図－22】 ソーラーシステム（太陽光発電）・蓄電池に関する相談件数の推移



【表－12】 相談内容別相談件数 上位 10 位（複数選択項目）

順位	内容KW	7年度 件数	6年度 件数	対前年度比
1	家庭訪販	512	411	124.6%
2	信用性	329	280	117.5%
3	約束不履行	186	158	117.7%
4	契約書・書面一般 ※1	180	127	141.7%
5	解約一般 ※2	164	157	104.5%
6	高価格・料金	145	110	131.8%
7	説明不足	140	93	150.5%
8	見積り一般 ※3	130	113	115.0%
9	クーリングオフ一般 ※4	119	88	135.2%
10	虚偽説明	115	89	129.2%

※1 「契約書・書面一般」は、書面不交付、書面偽造、書面不備以外の契約書・書面に関する相談

※2 「解約一般」は、解約拒否以外の解約に関する相談

※3 「見積り一般」は、見積り作成料以外の見積りに関する相談

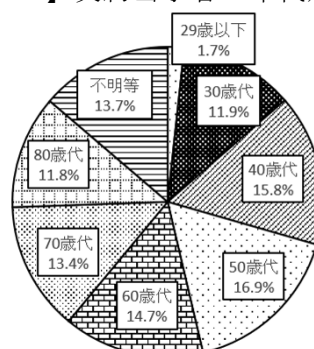
※4 「クーリングオフ一般」は、クーリングオフ回避以外のクーリングオフに関する相談

【表－13】 契約購入金額の平均

単位:千円

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
5,678	5,286	3,799	4,030	4,629

【図－23】 契約当事者の年代別割合



（構成比は、小数点第 2 位を四捨五入）

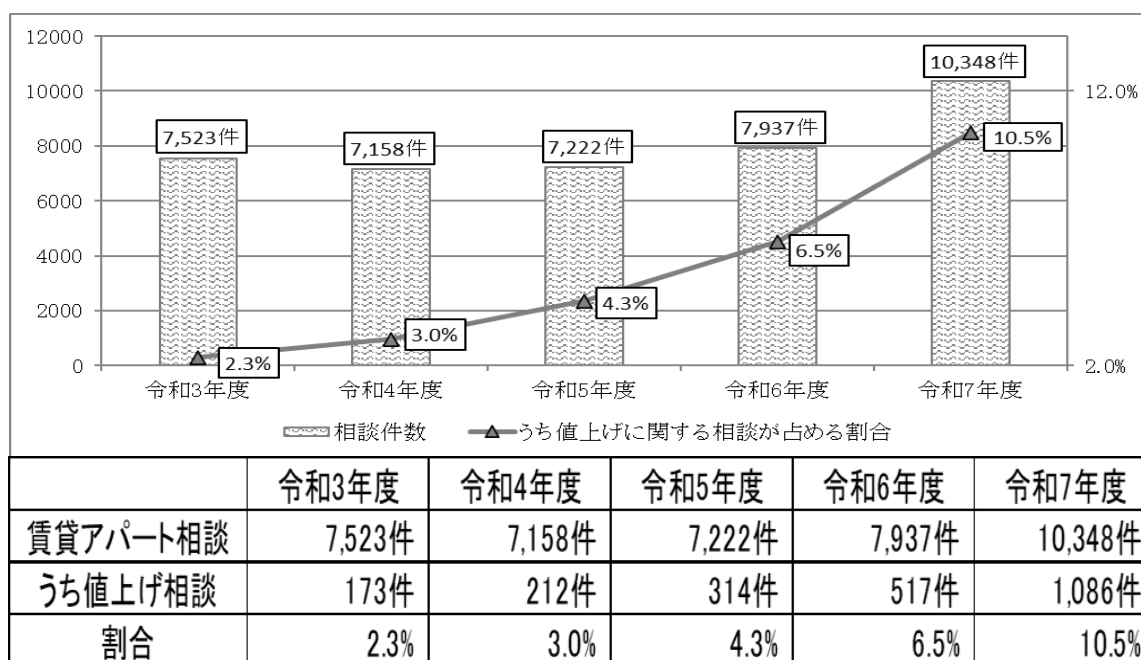
(3) 賃貸アパートの値上げ

賃貸アパートに関する相談件数は10,348件で、対前年度比130.4%と増加している。賃貸アパートに関する相談の中で値上げに関する相談件数が1,086件となっており、対前年度比210.1%と激増している（図－24）。

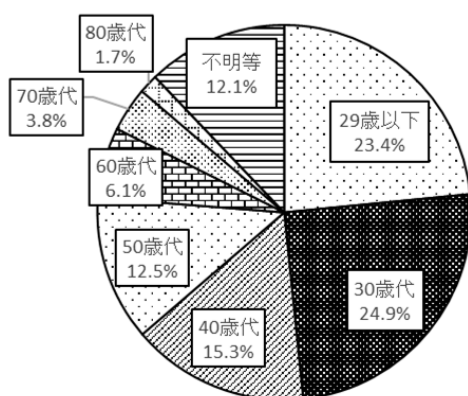
賃貸アパートに関する相談全体の契約当事者の年代別割合と賃貸アパートの値上げに関する相談の契約当事者の年代別割合を比較すると、値上げに関する年代別割合が40歳代（22.9%）で7.6ポイント、50歳代（19.9%）で7.4ポイント高く、40歳代、50歳代からの値上げの相談の割合が他の年代に比べて高いことが分かる。（図－25、図－26）。

「住んでいる賃貸マンションの更新2か月前に、管理会社から賃料と駐車場代を約2倍に値上げするとの通知がきた。余りに急激で高額な値上げの要請で困る。どのように対応したらよいか。」等の相談が寄せられている。

【図－24】 賃貸アパートに関する相談件数、賃貸アパートの中で値上げに関する相談件数及び値上げに関する相談の賃貸アパートに関する相談全体に占める割合

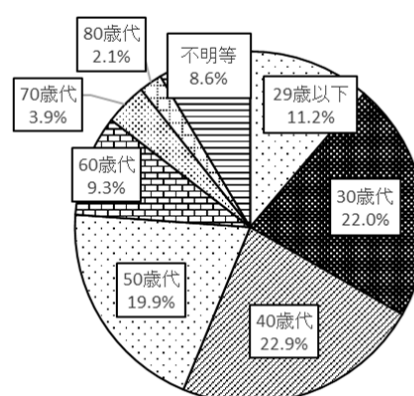


【図－25】 契約当事者の年代別割合



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

【図－26】 賃貸アパートの値上げに関する相談の契約当事者の年代別割合



（構成比は、小数点第2位を四捨五入）

(4) 緊急時レスキュー関連

① 鍵の解錠サービス

鍵の解錠サービスに関する相談件数が913件と対前年度比131.6%と増加している。そのうち、ネット広告で探した業者に依頼してトラブルになった割合を見ると、令和7年度は85.3%と令和6年度に引き続き高い(図-27)。

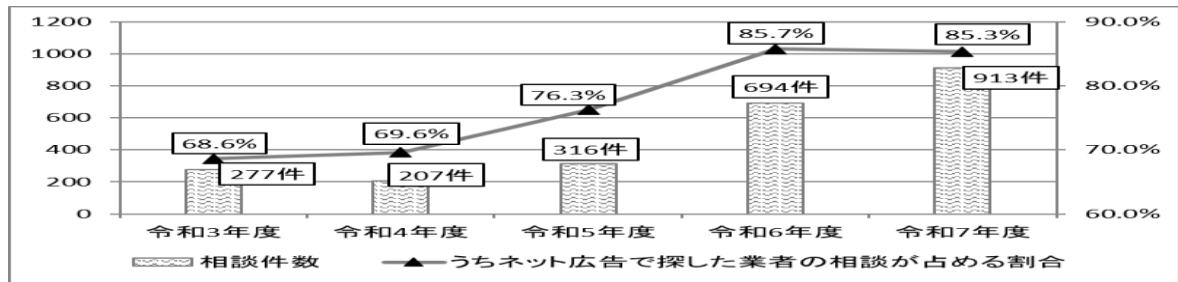
契約購入金額別割合(無回答・不明を除く)をみると、令和7年度は「10万円以上」が53.3%と最も多い(図-28)。

契約当事者の男女別割合では、女性が49.8%を占める(図-29)。

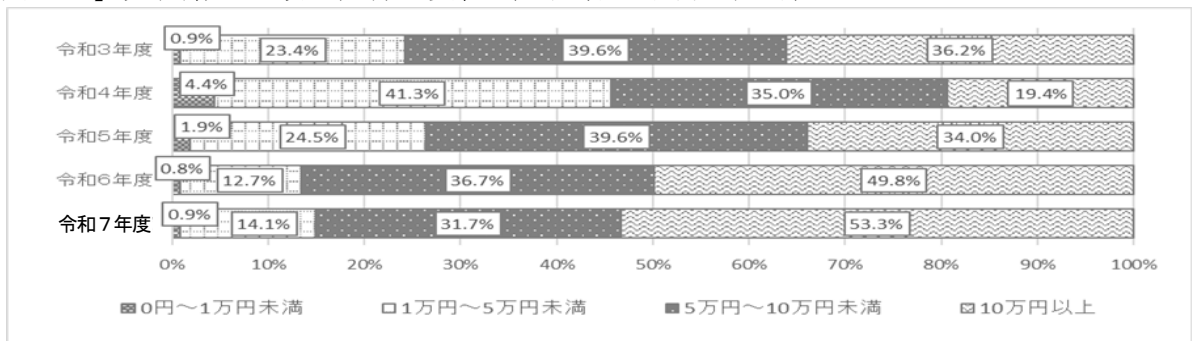
契約当事者の年代別件数では20歳代が327件で最も多い。増加率で見ると、50歳代(71件)が対前年度比202.9%と激増している(表-14)。

「深夜に帰宅したところ、鍵を紛失していることに気付き、スマホで検索して「2,200円から」と記載のあった業者を呼んだ。担当者が来て合計数万円かかると話があったがよく考えずに依頼した。数分で作業が終わり、約10万円の請求を受け、その場で支払った。翌日冷静になってみると、高過ぎると思うので解約できないか。」等の相談が寄せられている。

【図-27】 解錠サービスに関する相談件数及びうちネット広告で探した業者の相談が占める割合の推移

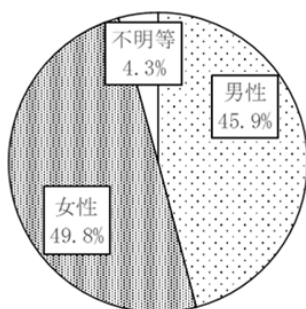


【図-28】 契約購入金額別割合の変化(無回答・不明を除く)



(構成比は、小数点第2位を四捨五入)

【図-29】 契約当事者の男女別割合



(構成比は、小数点第2位を四捨五入)

【表-14】 契約当事者の年代別件数

	7年度件数	6年度件数	対前年度比
20歳未満	24	31	77.4%
20歳代	327	275	118.9%
30歳代	190	134	141.8%
40歳代	85	43	197.7%
50歳代	71	35	202.9%
60歳代	50	35	142.9%
70歳代	48	39	123.1%
80歳以上	52	52	100.0%
不明等	66	50	132.0%
計	913	694	131.6%

② トイレの詰まり解消等修理

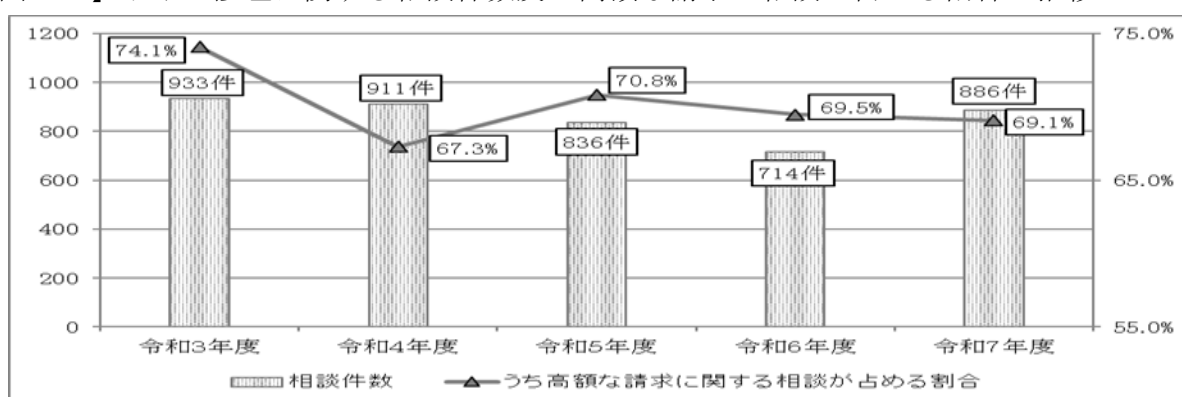
トイレの詰まり等の修理に関する相談件数が 886 件で対前年度比 124.1%と増加している。相談の内容をみると高額な修理費用等の請求に係る相談が 69.1%を占めている（図－30）。

契約購入金額別割合（無回答・不明を除く）をみると、最も多いのは「10 万円以上 50 万円未満」であり、令和 7 年度も 61.8%を占めた（図－31）。

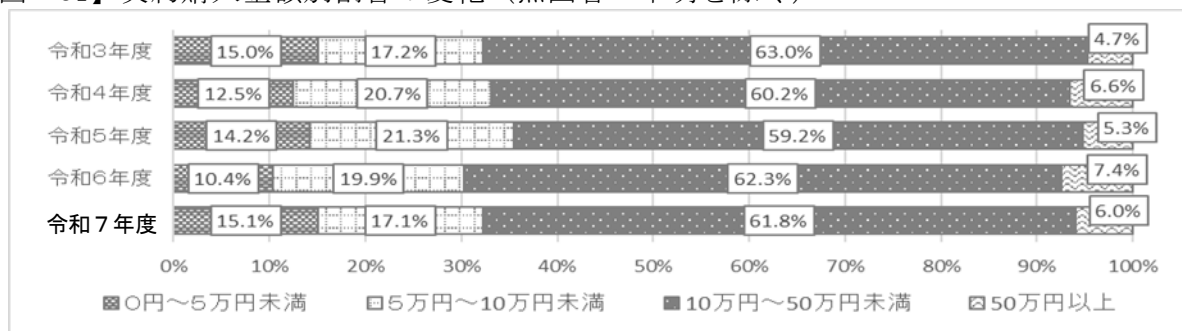
契約当事者の年代別件数では 20 歳代が 158 件で最も多い。増加率で見ると、60 歳代（105 件）が対前年度比 190.9%と増加している（表－15）。

「マンションのトイレが詰まり、ネットで格安な価格を表示していた業者を呼んだところ、最初に約 2 万円と料金の提示があり承諾した。作業後、トイレの詰まりは解消しなかったが約 15 万円を請求された。直らないのに高すぎる。」等の相談が寄せられている。

【図－30】 トイレ修理に関する相談件数及び高額な請求の相談が占める割合の推移

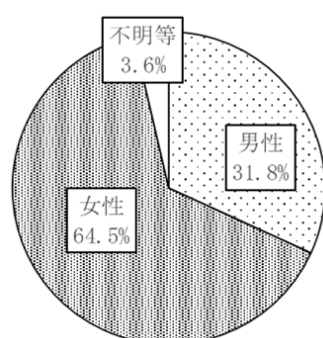


【図－31】 契約購入金額別割合の変化（無回答・不明を除く）



（構成比は、小数点第 2 位を四捨五入）

【図－32】 契約当事者の男女別割合



（構成比は、小数点第 2 位を四捨五入）

【表－15】 契約当事者の年代別件数

	7年度件数	6年度件数	対前年度比
20歳未満	10	17	58.8%
20歳代	158	165	95.8%
30歳代	113	93	121.5%
40歳代	89	70	127.1%
50歳代	108	67	161.2%
60歳代	105	55	190.9%
70歳代	92	55	167.3%
80歳以上	104	91	114.3%
不明等	107	101	105.9%
計	886	714	124.1%